

目標達成計画

作成日: 平成 27年 1月 12日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	30、31、40	菅平は冬季間は気候が厳しく、ほとんど外出は不可能になります。わずか、玄関から出た駐車場でさえ、県内でも上位に入る氷点下の気温のため、地面が凍り、毎年職員も転倒しているような状況です。また、ご家族の面会も減り、来訪者は少なくなります。インフルエンザやノロウィルスなど感染症の流行期と重なり、屋内で毎日を過ごす利用者さんの身体機能低下が心配されます。厳冬期は12月から3月の4ヶ月ですが、この期間をいかに乗り切るかが毎年の課題です。	利用者さんの体重の増減を抑え、体調管理を行い元気に4月を迎える。	1) 感染症の予防 手洗い、うがい、加湿、換気を徹底し、感染症の発生、まん延を防ぐ。 2) 楽しみながら、体を動かす 得意分野の家事をしていただいたり、体操をしたり、新しいレクリエーションを取り入れたり、全員で知恵を出し合い、楽しく体を動かす努力をする。 3) 食べ過ぎない 室内にいてもどうしてもお茶のみの時間が長くなり、お茶うけを食べ過ぎてしまったり、関心が食事に偏ったりし勝ちなので、食品の工夫や食事以外の楽しみを増やす。	3ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。